



！ 梅毒が急増しています

国内の梅毒感染者の報告数が、昨年、現在の統計方法になって以来初めて年間1万人を超えました。今年に入ってから感染者数は8月13日時点で9,213人と、依然として増え続けている状況です。

熊本市でも2017年から急増しており、注意が必要です。

- 梅毒は、主に、性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。
 - 多数の相手と性的接触を持つと感染するリスクが高まります。
 - コンドームの適切な使用により感染リスクを減らすことができます。
 - 梅毒は、早期に発見することで、適切な治療により治癒が可能です。
 - 症状があるときは、早めに医療機関を受診して検査を受けましょう。
- (参考:厚生労働省ホームページ)



熊本市保健所では、HIV(エイズ)検査を受けられる方は、梅毒検査もあわせて受けることができます。詳しくは市ホームページでご確認ください。

「梅毒、急増中！」「熊本市HIV(エイズ)検査・相談」



定点 種別	期 間		2023年 32週		2023年 33週	
			8/7~8/13(最新)		8/14~8/20(最新)	
	疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
C I O V I D - 1 9	インフルエンザ	注意	43	1.72	74	2.96
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	注意	361	14.44	325	13.00
小 児 科	RSウイルス感染症	流行中	51	3.19	35	2.19
	咽頭結膜熱(プール熱)		3	0.19	4	0.25
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		17	1.06	13	0.81
	感染性胃腸炎		47	2.94	42	2.63
	水痘(みずぼうそう)		6	0.38	8	0.50
	手足口病	流行中	35	2.19	23	1.44
	伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
	突発性発しん		9	0.56	6	0.38
	ヘルパンギーナ		30	1.88	13	0.81
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		5	0.31	1	0.06
眼 科	急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)		3	0.60	4	0.80
基 幹	細菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00